

<アイデア>

中学校 第3学年及び高等学校 入学年次 「E 球技」

中学校 第3学年及び高等学校 入学年次 「E 球技」イ ネット型の一つの種目で身に付けた資質・能力を活用・発揮して、同じ型の別種目の資質・能力を身に付けるためのアイデア

<ねらい>

生徒が主体的に知識及び技能を活用・発揮できるような、**複数種目同時展開の単元計画を作成する。**

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

「**領域**」の中の**一つの内容（種目）**を「**単元**」と捉え、単元ごとにまとまった時間の「**指導と評価の計画**」を作成していると思います。



領域

- A 体づくり運動
- B 器械運動
- C 陸上競技
- D 水 泳
- E 球 技**
- F 武 道 ...

領域の中の内容

- E 球 技**
- ア ゴール型
バスケットボール...
- イ ネット型
バレーボール...
- ウ ベースボール型
ソフトボール...

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

多くの学校では、**複数種目を同時展開**しています。

例：第1体育館…バスケットボール
第2体育館…卓球 など

単元終了後、**別の領域**
(武道など)の授業に
なりがち。

せっかく**バスケットボール**
で身に付けた**資質・能力**が、
活用・発揮されていないん
だよね。



主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成



ならば、ある**領域**の中
の**種目間**で、資質・能
力を自然に**活用し合え**
るように単元計画を作
成してみてはいかがで
しょうか。

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

単元の指導と評価の計画 E 球技（ネット型）

単元の目標	知識及び技能	次の運動について、勝敗を経験しやすさや喜びを味わい、技術の名前や行い方、実力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開すること。 イ ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻勢をすること。								
	思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。								
	学びに向かう力、人間性等	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の速い応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。								
学習の流れ	時間	1,2 a b	3,4 a b	5,6 a b	7,8 a b	9,10 a b	11,12 a b	13,14 a b	15,16 a b	備考 (単元全体の留意事項等)
	5	健康、安全観察・本時のねらいの確認・準備運動等								・勝敗にこだわらずに、仲間と協力しながら技術を高めるように配慮する。 ・ICT使用のルールや活用例について、オリエンテーションで示し、生徒が主体的に活用できるようにする。 ・a、bそれぞれの担当同士が、往還できる資質・能力について、事前に共通理解を図る。 ・見取った生徒の状況をお互いに話し合い、次時の授業構成に活かす。
	10	W-Upドリル（ステップ、ラケット操作）				個人・グループの課題別練習				
	20	役割に応じたボール操作 安定した用具の操作 ICT活用（iPad、タブレット） ボールコントロール、ボール（フットボール）				役割に応じたボール操作 安定した用具の操作 ICT活用（iPad、タブレット） ボール（フットボール）				
	30	課題解決に向けた練習 ・勝敗・戦術の発見・修正 （戦術、オフェンス）								
40	試みのゲーム									
50	後片付け・整理運動・学習の振り返り・次時の確認等								単元のまとめ 全体の振り返り	
評価機会	知	1	2	3	4	5	6	7	8	評価方法
	技	①		①		①	②			学習シート・チェックテスト
	思		①	③	①	③	②			観察・スキルテスト
	態	⑤	②					①		学習シート・観察
単元の評価規準	知	①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、著ったり書き出したりしている。 ②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることについて、学習した具体例を挙げている。								
	技	①ボールを相手側のコートや空いた場所やおもった場所に打ち返すことができる。 ②ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる。 ③ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。								
	思	①実施した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を伝えられている。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題解決に有効な練習方法を選択している。 ③チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。								
	態	①実施した運動の学習に、自主的に取り組もうとしている。 ②互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ③健康・安全を確保している。								

内容 E球技 ネット型 種目の単元計画

「『指導と評価の一体化』
のための学習評価に関する
参考資料」中学校保健体育
(国立教育政策研究所)を基に
作成してみました。



主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

単元の指導と評価の計画

E 球技（ネット型）

単 元 の 目 標	知識及び技能	次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 イ ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
	思考力、判断力、表現力等	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
	学びに向かう力、人間性等	球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保すること。

- ・まずは、自校で取り扱う「ネット型の種目」に共通する単元の目標を設定します。
- ・ここでは「バドミントン」と「ソフトテニス」を取り上げてみます。

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

全を確保すること。

時間	1,2		3,4		5,6		7,8		9,10		11,12		13,14				
	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b					
学習の流れ	5	オリエンテーション 健康, 安全観察・本時のねらいの確認・準備運動															
	10	準備運動 本時のねらいの確認		W-Upドリル (ステップ, ラケット操作)				役割に応じた ボール操作 安定した 用具の操作 ・クリアー, ヘアピン, プッシュ ・ロブ, ストローク, ボレー (フォア・バック)				役割に応じた ボール操作 安定した 用具の操作 ・ヘアピン, プッシュ ・ボレー (フォア・バック)		個人・グループ ルール・リーグ戦に 運営のに向けて の確認の仕方		個人・グループ 課題	
	20	準備運動 本時のねらいの確認		課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス		課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス			
	30	用具の慣れに ム		簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける				簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける				簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける		簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける			
	40	基本的な 確認		簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける				簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける				簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける		簡易ゲーム 縦横ラリーを続ける			
50	後片付け・整理運動・学習の振り返り・次時の確認等																
	1	2	3	4	5	6	7	8									

1時間目 a…バドミントン
b…ソフトテニス
2時間目 a…ソフトテニス
b…バドミントン
以降, 1時間ごとに種目を交代
します。

- ・ (ここでは) それぞれの指導担当は交代しません。
- ・ それぞれの種目で活用・発揮できる部分はどこか, それぞれの学習活動は何かなど, 事前に担当同士で話し合い, 確認します。

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

全を確保すること。

時間	1,2		3,4		5,6		7,8		9,10		11,12		13,14		15,16				
	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b			
学習の流れ	5	オリエンテーション 健康, 安全観察・本時のねらいの確認																	
	10	準備運動 本時のねらいの確認		W-Upドリル (ステップ, ラケット操作)				役割に応じたボール操作 安定した用具の操作 ・クリアー, ヘアピン, プッシュ ・ロブ, ストローク, ポレー (フォア・バック)				役割に応じたボール操作 安定した用具の操作 ・ヘアピン, プッシュ ・ポレー (フォア・バック)				ルール 運営の仕方 に向けての確認			
	20	準備運動 本時のねらいの確認		課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				リーグ戦 (試合)				リーグ戦 (試合)			
	30	準備運動 本時のねらいの確認		課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				リーグ戦 (試合)				リーグ戦 (試合)			
	40	準備運動 本時のねらいの確認		課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				課題解決に向けた練習 ・撮影→動作比較→修正 ・話し合い, アドバイス				リーグ戦 (試合)				リーグ戦 (試合)			
50	後片付け・整理運動・学習の振り返り・次時の確認等																		

・その時間に見取った生徒の状況について担当同士で情報交換し、次の時間の学習に生かすようにします。

5,6時間目
簡易ゲーム 縦-halfコート
の活動をピックアップしてみましょう。

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

例：5,6時間目の簡易ゲーム

ねらい **縦長のコート**において、**空いた場所を巡って攻防**することができる。

5, 6時間目の例

時間	班	バドミントン	班	ソフトテニス
5時間目	a	ハイクリアで相手をコート後方に <u>追い込み</u> 、 <u>タイミングを見計らって</u> 、 <u>ネット際にヘアピン・プッシュ</u>	b	グランドストロークで相手をベースライン付近に <u>追い込み</u> 、 <u>タイミングを見計らって</u> 、 <u>ネット際でボレー</u>
6時間目	<ul style="list-style-type: none"> ・縦の-halfコートで簡易ゲームを行います。 ・それぞれの種目において、「ねらいを達成した生徒の姿」を簡潔に示してあります。 ・アンダーラインが「見取りのポイント」です。 			

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

- ・ 6時間目は、それぞれ種目を交代します。
- ・ 「**見取りのポイント**」を比較すると、種目は違っていても、**似たような動き、技能**が求められていることが分かります。
- ・ 生徒は、前時の学習で学んだ事が**別の種目でも活用できる**ことに気が付くと思います。

		テニス		
5時間目	a	ハイクリアで相手をコート後方に追い込み、 <u>タイミングを見計らって、ネット際にヘアピン・プッシュ</u>	b	グランドストロークで相手をベースライン付近に追い込み、 <u>タイミングを見計らって、ネット際でボレー</u>
6時間目	b	ハイクリアで相手をコート後方に追い込み、 <u>タイミングを見計らって、ネット際にヘアピン・プッシュ</u>	a	グランドストロークで相手をベースライン付近に追い込み、 <u>タイミングを見計らって、ネット際でボレー</u>

主体的な活用・発揮を促す単元計画の作成

- ・運動を構成する要素が似ている種目を意図的に配置，2時間を1セットとして交互に行う → 既習事項を活用・発揮

1/2時間目

「気付き」の
材料となる
資質・能力の
定着の時間



2/2時間目

生徒の「気付き」による，
主体的な活用・
発揮の時間

工夫

- ・ローテーションを変える。(a, b → b, a → a, b → ...)
- ・種目の組み合わせを変える。
(バレーボールとバドミントン，ソフトテニスと卓球 など)